

妊娠中の皆様へ

令和8年度から

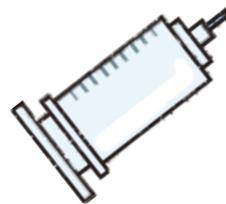
妊婦の方を対象にRSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種が始まります

実施期間 令和8年4月1日から

※令和8年3月31日までの接種は、任意接種となり、全額自己負担になります。

対象者 接種日時点で稲城市に住民登録のある

妊娠28週0日から36週6日の妊婦



接種費用 無料(全額公費負担)

<稲城市公式ウェブサイト>



接種場所 市内指定医療機関



※里帰り出産に伴い、稲城市外の医療機関で接種をご希望の方は、事前に手続きが必要です。(詳細は裏面をご確認ください。)

RSウイルス(母子免疫ワクチン)

持ち物 ①母子健康手帳

②本人確認書類(マイナンバーカード等)

③予診票



留意事項 接種を受ける前に必ず

(別紙)「RSウイルス感染症の定期接種(母子免疫ワクチン)についての説明書」をよくお読みになり、接種の実施について検討してください。

●RSウイルス感染症とは

RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。

RSウイルスは年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後6ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が少なくとも一度は感染するといわれております。

●ワクチンの効果

このワクチンは、妊娠中に接種することで、胎盤を介して母体から胎児に抗体が移行して、出生後に赤ちゃんのRSウイルス感染症の重症化を予防するものです。(裏面へ)

里帰り先（稲城市外）で接種を予定している方へ

＜八王子市、町田市、日野市、多摩市で接種する場合＞

八王子市、町田市、日野市、多摩市の指定医療機関であれば、事前の申請は必要とせず、接種が可能です。

なお、接種の際は稲城市の予診票ではなく、各医療機関で予診票を受け取って使用してください。



定期予防接種

(八王子・町田・日野・多摩市の医療機関で受ける場合)

＜上記4市以外の医療機関で接種する場合＞

接種前に市へ事前申請（必須）が必要です。

申請方法は電子申請、郵送、保健センター窓口の3通りです。

接種する際には、申請後に市より交付する「稲城市予防接種依頼書」を医療機関に持参する必要があります。

なお、「稲城市予防接種依頼書」の交付には、2週間程度の時間を要します。お時間に余裕を持って申請してください。



稲城市外で予防接種を希望する方へ



(電子申請用)Logo フォーム

【RS ウイルスワクチン接種に関するよくある質問】

Q. 妊娠 27 週 6 日以前または妊娠 37 週 0 日以降に接種した場合、助成はありますか。

A. 定期接種として無料で接種できるのは、妊娠 28 週 0 日から 36 週 6 日の間です。その期間以外での接種は、任意接種となり、全額自己負担での接種となります。

Q. 予防接種をしてから胎児に抗体が移行するまで、どのくらいの期間がかかりますか。

A. 予防接種をしてから抗体が胎児に十分移行するまでには、お時間がかかります。(接種後 14 日以内に出生した乳児における有効性は確立していない) このため、帝王切開などで出産予定日(計画分娩の場合は、その予定日)を 40 週より早く見込んでいる方は、接種時期についてかかりつけの医師と相談してください。

Q. 他のワクチンと同時に接種することはできますか。

A. 医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、海外の知見で、百日咳菌の防御抗原を含むワクチンとの同時接種で、百日咳菌の防御抗原に対する免疫応答が低下するとの報告があり、接種間隔等については医師と相談してください。

＜問合せ先＞稲城市保健センター（福祉部健康課）

TEL：042-378-3421